

全看護職員対象

		ニーズをとらえる力・ケアする力			意思決定を支える力	協働する力		その他		自己研鑽	自己学習
研修名	看護記録	臨床推論研修	認知症看護	高齢者の意思決定支援	退院支援	他施設訪問	看護研究	医療DX	トピックス研修		
ねらい	看護記録をもとにアセスメントと実践のプロセスが適切か明らかにし、看護の妥当性・適切性を評価する力を習得する	患者の症状や変化から必要な情報を整理し、根拠を持って判断できる力を養う	認知症患者・家族の課題への対処を学び、高齢者ケアにおける看護実践能力の向上をめざす	高齢患者の意思決定支援に必要な支援を学ぶ	退院支援・地域連携に必要な知識を学び、退院支援のあり方を考える	介護施設へ訪問し、見学することで、生活・療養の場を理解し、退院支援に活かす	臨床の中の問題を見出し、研究的視点で論文作成し発表する	看護現場での医療DXとは何か理解でき、業務の効率化に向け、医療DXを活用する必要性がわかる	心身のリフレッシュを図り、モチベーションを高める	★自分の実践力を向上させるため、目標に応じた研修を自ら選択し受講する ★年度初めに学習計画を立て、計画的に学習する 学研オンデマンド 視聴・テスト 日本看護協会オンデマンド 島根看護協会研修 その他、院外研修	
研修内容	・看護記録監査 ・情報共有(チーム医療の基盤) ・看護の質の向上(思考の可視化) ・法的根拠(自分と組織を守る) ・継続看護(患者の人生を支える記録)	・患者の全体像を捉え、起こりうる事を予測し日々の看護実践を行う	・認知症患者に寄り添った看護実践 ・コミュニケーションの留意点に沿った対応 ・療養環境調整	・患者の思い・不安・希望を傾聴し、必要な情報をわかりやすく伝え、意思決定を支援する ・患者が自分で選択できるよう代弁者となり意思決定支援をする	・患者を生活者として捉え、退院支援における課題を明確にし退院支援を行う ・院内他職種・地域関係者と協働し退院支援を行い、地域へ看護を継続する	・患者を生活者として捉え、退院先に応じた退院支援を行う	・研究で得られた成果を継続して取り組み、さらに発展させる	・医療DX活用のアイデアが出せる ・医療DXを活用し、業務の効率化を図る			
日時	① 6/29(月) ② 7/28(火) 13:30~15:00	8/12(水) 9:00~12:00	① 12/22 (火) ② 1/18 (月) 13:30~15:00	10/21(水) 13:30~15:00	11/13 (金) 13:30~15:00	未定 1時間程度	【個別指導】 ①研究計画書 5/27(水) ②研究計画書 7/6(月) 9:30~11:30 個別指導 ・論文作成 R9年5~6月頃 ・発表会 R9年8月予定	9/16 (水) 13:30~15:00	未定 5月~9月の土曜日に4~5回開催 うち1回は新人・プリセプターのための交流会		